



あのときの常呂・写真館

VOL 33

(1969年)

昭和44年9月30日 常呂町役場日吉支所落成式



▶昭和44年10月号の「広報ところ」は、このときのようなすを次のように伝えています。

役場日吉支所の落成式が9月30日、地元住民や関係者80人が出席して行われ、完成の喜びを分かち合いました。

従来の支所は、昭和24年に建設されたもので20年を経た今日では老朽化も甚だしく、加えて常呂市街地から20数キロの遠距離地にあり、当地方の産業振興、行政指導の中心である支所がこのように老朽化施設では住民サービスも図れないことを考慮するとともに、地区住民の強い要望があって建設されたものです。

この新庁舎は95.58㎡、木造モルタル平屋建てながら住民が十分利用できる施設にしようと、内部施設にいろいろ気を配り、事務所は22.68㎡、Pタイル貼りで応接セット、石油ストーブなどが配置されています。これまで支所長宅と併用使用されていた玄関、トイレは別に建設され、地区住民の行政指導センターとして産業の振興、住民の福祉向上に大きく飛躍するものと期待されています。

*前ページ落成式会場は、旧日吉保育所。この当時は、「母と子の家」という名称でした。

「母と子の家」は、旧日吉開拓診療所跡に建てられました。(昭和42年6月26日着工、11月23日完成)

*ちなみに、旧日吉開拓診療所は、昭和33年10月20日完成、診療開始。35年6月9日は増築工事の入札が行われています。鉄山を含め、日吉地区の人口規模が背景にあったことがわかります。

*右：日吉支所落成前の旧支所の入口



下：落成した日吉支所（現支所）



*下：昭和34年頃の日吉地区

